安里屋ユンタ

本調子

中 工 七 合 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 〇 四 合 上 合

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四 工

四 合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 合

サ ー キ ミ ハ ノ ナ カ ノ イ バ

上 中 工 合 工 五 工 合 工 サ ー ユ イ 合

ラ ノ ハ ナ カ

五 合 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

ユ イ ク レ テ カ エ レ バ ヤ レ

中 五 工 合 中 上 四 工 四 合 上 合

ホ ニ ヒ キ ト メ ル マ タ ハ ー

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四 工

リ ヌ チ ン ダ ラ カ ヌ シ ャ マ ヨ

一、サー君は野中のいばらの花か
　サーユイユイ
　暮れて帰ればやれほにひきとめる
　マタハーリヌツンダラカヌシャマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
　サーユイユイ
　主は白百合やれほにままならぬ
　マタハーリヌツンダラカヌシャマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
　サーユイユイ
　二人で気がねにやれほに水入らず
　マタハーリヌツンダラカヌシャマヨ

四、サー染めて上げましょ紺地の小袖
　サーユイユイ
　掛けておくれよ情けのたすき
　マタハーリヌツンダラカヌシャマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ
　サーユイユイ
　春夏秋冬緑の島よ
　マタハーリヌツンダラカヌシャマヨ